

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	第1しょうとく園・第2しょうとく園		
○保護者評価実施期間	令和7年11月17日		～ 令和7年11月25日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	74	(回答者数) 69
○従業者評価実施期間	令和8年3月1日		～ 令和8年3月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	27	(回答者数) 24
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年4月23日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士・言語聴覚士・理学療法士・作業療法士・看護師・栄養士等、多彩な専門職の連携による支援ができています。	セラピストとの関わりについては、個別訓練だけではなく、保育場面での集団活動においても専門的なアプローチを行っている。また、看護師や栄養士も保育の中で、直接的な子どもとの関わりを通して、保健指導や栄養指導に当たっている。	集団の中での多職種連携の可能性を模索し、支援の幅を広げていく。
2	令和7年度より、延長支援を平日は毎日できる体制をとり、保護者の就労やレスパイトに対応した家族支援の充実につながっている。	延長支援の希望状況を事前に把握することで十分な体制を確保し、計画的に行うことができています。	非常勤の担当職員の雇用を充実させることで、支援が安定し、急なニーズにも対応できる体制を構築していく。
3	令和7年度から始めた外部講師を招いてのペアレントトレーニングやきょうだいと保護者・職員が交流する機会を持つきょうだい児支援等、家族支援にも力を入れている。	給食の試食会や茶話会等、色々な形で保護者・家族との交流を持ち、気軽に相談できる機会を増やしている。	退園された保護者の方も参加できる機会を増やし、多様なニーズに対応していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	通園範囲が6つの市町村にわたり広範囲なので、送迎バスの距離・時間がどうしても長くなってしまふ。	仮に、最も遠いところのみに送迎するとしても往復1時間20分かかる距離に利用者があるので、コースの短縮は難しい。	バスの台数を増やすことで、1周2時間を超えなくはなっているが、バス停の設定も難しく保護者のご協力が不可欠である。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	第1しょうとく園・第2しょうとく園		公表日	令和8年 5月 1日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		基準以上に十分なスペースがあり適切である。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の数配置数は適切であるか。	○			配置基準は満たしているが、今年度は途中退職があったり、延長保育に担当でない職員が回らないといけない日があったりして余裕がなかった。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		今年度より多目的トイレに幼児チェアを設置し、きょうだい児への配慮ができています。	園児のマークや並ぶ場所にプレートを置く等の工夫はしているが、構造化を十分に意識しているとは言えない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○			生活空間に問題はないが、保育室内の倉庫に物の出し入れをするときは子どもに背を向けてしまう。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			個別に使用できる部屋はあるが、クールダウン専用の部屋ではない。
業務 改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		独自の満足度調査により、より現状に即した保護者の意向が伺え、業務改善につながっている。	
	8	職員の意見を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		定期的な育成面談の場で、管理職が職員の意見を把握し、業務改善や人材育成につなげている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		3年に1回、外部機関による第三者評価を受けて結果を公表している。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		年齢に応じた法人主催の研修のほか、希望や必要に応じて外部研修の機会は確保している。オンライン研修も増え、受講しやすくなっている。	
適切な 支援の 提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		独自のアセスメントシートによる具体的な評価及び保護者からの書面によるニーズ把握も行ったうえで、支援計画を作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		支援会議を必ず行ったうえで計画作成をしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		支援計画は個人ファイルに綴じ、関係職員が必要時にいつでも確認できるように管理されている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		子どもが各機関で受けている発達検査の結果や、日々の集団生活の中で職員が評価したアセスメントにより、把握している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○			

19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		専門的支援計画も併せて作成し、個別活動と集団活動の両方を通して支援を行っている。	
20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		毎朝、複数人でその日の支援体制を確認し、掲示することで職員全体に伝わるよう工夫している。	
21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		毎日職員終礼を行い、必要な情報共有ができています。	
22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		個人記録を作成、個別支援計画の見直しにつながるような書式にしている。	
23	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		半年に1回、モニタリングを兼ねた支援会議を行い、計画の見直しを行っているが、事実上、半期単位の支援計画となっている。	
24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		会議の機会があった場合には、児童発達支援管理責任者及び当該児童と関わりの深い者が参加している。	
25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		ケースに応じて、各機関との連携は取れている。	
26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		現状、並行利用はないが、移行に際しては、移行先との情報共有・相互理解はできている。	
27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学前に就学先から見学に来られることが多く、就学後も訪問支援等を通じて、情報共有や相互理解ができています。	
28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。	○		事業所間交流の集まりに参加し、顔の見える関係はできている。地域全体の質の向上に資する取組としては、地域のこども園に対して、施設の内部研修に参加していただく機会を設け、専門的な支援について学んでいただいている。	
29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	○		外部講師を招いての内部研修のほか、職員全員がそれぞれに外部研修を受ける機会を設けている。	
30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	○		担当を決めて、定期的に参加している。	
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○			
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○		特定の子ども園と連携し、年長児が毎月1回交流を持つ機会を設けている。	
33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎日の連絡ノートで、日々の様子を共有するほか、懇談会や随時相談の機会を設け、共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今年度より、外部講師を招いてのペアレントトレーニングを実施しているほか、試食会・きょうだい児支援等、家族が参加できる情報共有の場を設けている。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時または契約前に書面配布とともに説明を行っている。利用者負担に関しては、受給者証確認後に負担上限額に応じた料金表を配布し、加算単位等の詳細をお伝えしている。	
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		年2回、個別支援に関する要望書を保護者に記載していただき、意向を踏まえたうえで、計画を作成している。	
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		前後期の定期的な個人懇談会や家庭訪問の場で、書面を示しながら説明を行っている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		定期的な個人懇談・家庭訪問の機会のほか、いつでも相談に応じることができる体制をとっている。	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○	保護者会主催の交流会の場をサポートしている。きょうだいの交流の場は、施設主催で、きょうだい児支援として、年数回実施している。	
	40	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	相談や申し入れがあった場合には即対応している。希望に応じ、専任医との相談の場も設けている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○	月末に翌月の保育だよりを配布すると共に、一斉メールで行事予定を配信している。日々の活動の様子は、ブログで配信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○	個人情報同意書をとるとともに守秘義務を徹底している。職員全体にも毎年必ず、研修を行い、意識を高めている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○	子どもや保護者の特性に応じて、個別に配慮している。書類にルビを添える等の配慮も必要に応じて行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○	移動動物園やお祭り等の行事を企画し、広報等で周知のうえ、地域住民の参加を呼び掛けている。	
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○	マニュアルを策定し、職員や保護者に応じた方法で周知している。避難訓練も実施し、ブログ等で、その時の様子を公開している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○	BCPの策定は行っている。避難訓練は、火災・地震・防犯を想定して、定期的に行い、年1回、消防署に立ち合いをお願いしている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○	契約前に事前調査、必要に応じて医師の意見書を取り、ケースに応じて日常及び緊急時の対応を行っている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○	医師の指示書に基づき、給食の対応をしている。指示書は定期的に更新し、最新情報を反映している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○	安全計画を作成し、それに基づいた安全管理の下、支援を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○	安全計画は施設内に掲示して周知しており、それに基づいた避難訓練等の活動内容も、ブログで報告している。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○	ヒヤリハットがこまめに挙がるよう形式を簡素化し、事象があった場合には即時に、また、毎月の職員会議にてまとめて情報共有し、再発防止につなげている。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○	虐待防止委員会を設置し、虐待セルフチェック・研修・啓発活動等、活発に取り組んでいる。		
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○	やむを得ず身体拘束を行った場合には職員会議で情報共有・確認を行っている。		

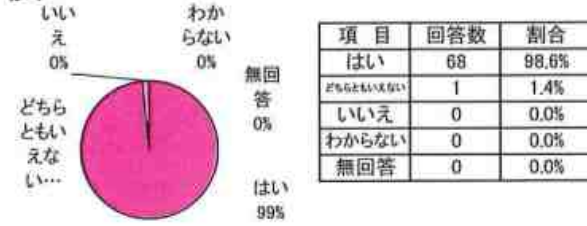
# 令和7年度 しょうとく園 利用者満足度調査に伴う自己評価結果

○評価方法: 利用児保護者のアンケート実施(R07.11/17~11/25)、結果集計をもとに自己評価を行う。

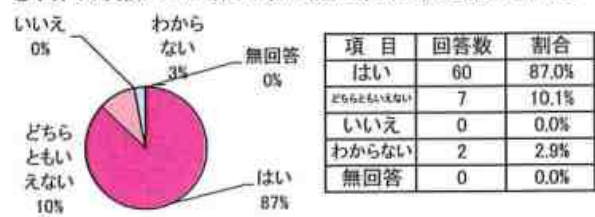
## ○評価項目と結果

アンケート配布数: 74 枚 回答数: 69 枚 回収率: 93.2%

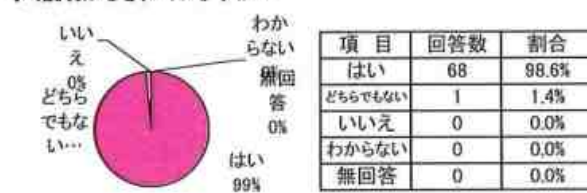
①日々の活動の中で、色々な遊びを体験できていると思えますか?



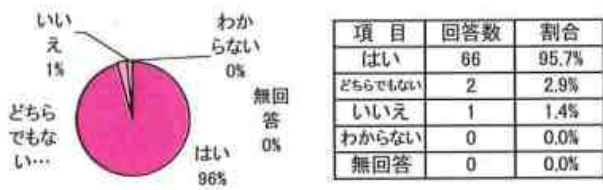
②子育てや支援について話しやすい環境にあり、気軽に相談できますか?



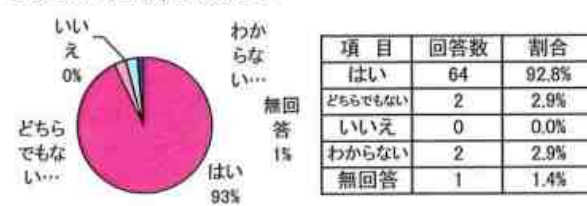
③個別支援計画及び特別支援計画は適切に作成され、分かりやすく説明がなされていますか?



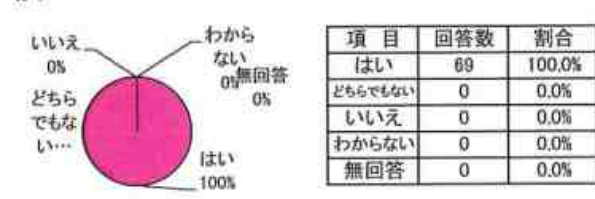
④連絡ノートは、読みやすくわかりやすい内容になっていますか?



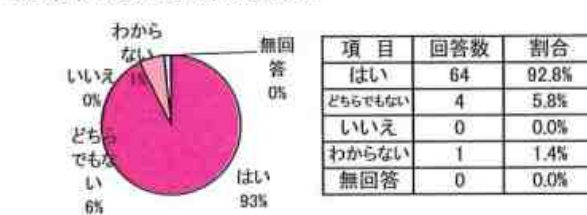
⑤給食のメニューは、栄養面に配慮し色々な食材を使ったメニューになっていると思えますか?



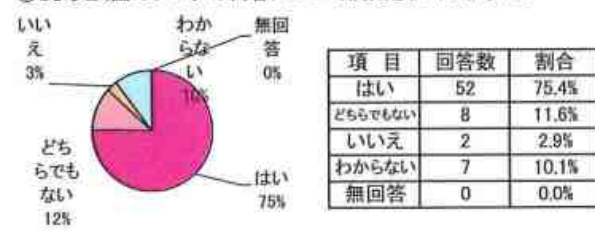
⑥園の設備や生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっていますか?また、子ども達の活動に合わせた空間になっていますか?



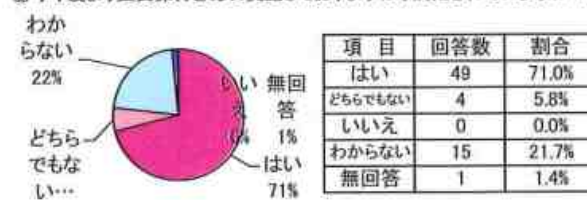
⑦個人情報が記載された書類やブログの写真の取り扱いには、注意が払われていると思えますか?



⑧しょうとく園のブログの内容について満足されていますか?



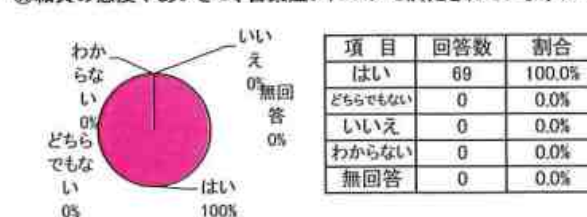
⑨今年度より延長保育を毎日実施しておりますが、満足されていますか?



⑩お子様はしょうとく園に喜んで通うことができますか?



⑪職員の態度やあいさつ、言葉遣いについて満足されていますか?



⑫しょうとく園を利用して満足されていますか?



### ※その他の意見及びまとめ

「子どもたちが喜んで通い、成長が見られている」「職員の接遇態度が気持ちいい」というご意見が多く、一定の評価をいただいている。ブログについても個人情報の配慮等についての評価とともに、内容にも満足いただいている。相談については、「忙しそうで声をかけにくい」と言う意見があるが、いつでも気軽に相談してもらえる体制を整えていく。

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 第1しょうとく園		
○保護者評価実施期間	2026年 2月10日		～ 2026年 3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29名	(回答者数) 25名
○従業者評価実施期間	2026年 3月23日		～ 2026年 4月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月10日		～ 2026年 3月17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 18
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターに他職種(相談・ST・PT・OT・Ns)のスタッフが常駐しており、訪問スタッフがいつでも相談できる環境がある。	・支援計画の作成や訪問先での課題で対応に困った時には、他職種スタッフからアドバイスを受けてより良い支援ができるようにしている。また、専門職からの研修を受けて知識の向上を図っている。	・訪問支援員間で勉強会を行ったり、センター内外の研修を受けたりする等、更なる支援員の質の向上に努めていく。
2	・訪問時、保護者や訪問支援施設に実施記録を渡し、情報共有を行っている。	・関係機関と連携を回り、必要に応じて担当者会議に参加し、よりよい支援の方向性について話し合う機会を設けることもある。それにより、保護者・支援先と共通理解をして、支援に繋げることができる。	・日頃から園や学校の先生、相談支援員等の関係機関とより連携を回り、子どもの様子や課題について共有できる機会を設けていく。
3	・センターからの卒・退園児のみならず、地域のこども園等で訪問支援をご利用の方へ就学に向けての移行支援を実施している。	・府や市町村からの学校見学案内や就学相談についての情報提供を、個々に応じて行っている。就学に向けて学校の先生とも情報共有を行い、環境が変わっても子どもも保護者も安心して新しい環境に適応できるようにしている。	

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別支援計画の内容について、対面や電話連絡にて説明ができていない状況がある。	・訪問支援員の帰園時刻がそれぞれで、帰園後は事務処理を優先している状況である。電話連絡の際に、個別支援計画書に関する支援内容は伝えるも、書面に沿って説明ができていない。また、訪問支援員の業務時間内で保護者に連絡が取りづらいため、説明する時間の確保が難しいケースもある。	・個別支援計画書の内容について説明をする際に、支援先の意向や取り組みも説明に加え、連携を図っていることを保護者にも伝えていく。 ・連絡手段と時間の確保の検討。
2			
3			

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		第1しょうとく園		公表日		RB 年 5 月 1 日	
環境・整備・運営		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと 思われる点など	課題や改善すべき点	
						1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。
2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・4名の訪問支援員を配置したことで利用希望に対して対応できるようになった。	・地域のご要望に沿えるような体制作りに向けていきます。		
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・定期的に会議を行い、困難なケースなどチームで検討している。	・チームで引き継ぎ連携を図っていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・年に1回評価表の記入を依頼している。また、こまめな電話連絡などを保護者の意向を聞く機会を多く持っていると感じる。本人の思いを代弁した内容を確認したり、電話連絡などで意向を確認したりしている。	・今後も、ご本人や保護者の意向や思いに寄り添いご聲を受け止めていきます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・月一の訪問会議などで共有している。 ・支援時間を有効に確保するために、会議の中で話し合い、業務改善に繋いでいる。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・訪問先への評価依頼を行っている。 ・第三者評価をセンターとして受けている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・法人内外の研修に参加している。 ・研修計画を立案し、実施している。また、勉強会やケースカンファレンスを行い、質の向上に繋がっている。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7	0	・要望書などで把握して個別支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・月1回会議を開き、情報共有やケース検討を行っている。また、会議録を回覧し、共通理解ができるようにしている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0	・意向を盛り込んでいるのかわからない。 ・利用可否判断に悩む時は、児発費とともに支援先に行き、実情を把握している。支援先の意向を盛り込むこともある。	・支援先の意向を盛り込んで作成することもあります。情報共有を行いながら、連携を図っていくことが今後必要である。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・必要な職員には、共有されている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・インフォーマルなアセスメントはないと思われる。 ・参考文献をもとに作成した個別自のアセスメントシートがある。子どもの状況を把握するには事足りるまいようである。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的な内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・ガイドラインについて学ぶ機会を持った。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・計画に沿った支援ができていない。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	6	・毎回の訪問時に打ち合わせは行っていないが、支援員同士で役割を話す時もある。支援会議後も行い、内容を検討して日々の支援に繋げている。 ・振り返り等の連携は取れている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・毎回行っていないが、共有した方がよいことは時間を取って行っている。 ・毎回の訪問時に打ち合わせは行っていないが、支援員同士で役割を話す時もある。支援会議後も行い、内容を検討して日々の支援に繋げている。 ・振り返り等の連携は取れている。 ・個々の振り返りは毎日できている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7	0	・必ず訪問先の理念を尊重している。尊重するあまり支援が難しい場合もあり、苦慮している。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7	0	・当日その場で記録を作成し、取っている。 ・徹底できている。			

	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しを判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・年に二回行っている。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・担当者が中心に参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・学校や地域の事業所等連携し、年に一度程度保育所等訪問支援事業所と研修を通じて交流している。 ・困り感の高いケースや子どもだけでなく保護者支援や丁寧な対応が必要なケースは特にこまめに連携を取るようにしている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・こちらから支援に関する書類は提出し、共有している。学校等の教育計画を共有し、相互理解になっているかは不明。	・会議等の時間を確保し、多方面から子どもをより深く理解できるよう関係機関と連携を図っていく等改善していく必要がある。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	1	・研修が必要に応じて参加している。担当者会議等で専門家や専門機関から助言を受けることがある。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	7	0	・関わりの多い市町村の会議には参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・訪問記録だけではなく、連絡が付きにくい保護者には、手紙を添えたり、電話連絡を取ったりしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	・家族参加の研修の機会は設けていない。	・今後の検討課題である。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明をしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7	0	・初めて訪問する施設には、主旨を説明し、同意を得ている。また、担当や校長の変更により、再度説明を求められた際には、その都度対応している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・計画見直し時期は要請書を配布し、保護者の意向を確認している。 ・保護者の意思は確認しているが、本人の意思を確認しているかは分からない。 ・書類だけでは分からず子どもの保護者の思いを考慮し、支援計画書を作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	2	・毎回は説明できないことがあるが、電話連絡時に不明点がないか確認することはある。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・保護者への連絡はこまめに行い、必要に応じて助言、連絡調整を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	・保護者同士、兄弟同士で交流できる場は設けていない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・その都度こまめに対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	6	・個別への連絡が主のため、定期的に通信やSNS等の画一的発信は行っていない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・年に一度研修の機会を持ち、取り扱いに関して改めて考える機会を持つと共に保護者には個人情報使用に関する同意書を得ている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・契約書面にルビを使ったり、個別に訪問前日に電話連絡をして、伝わっているか確認をすることがある。	
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7	0	・必要に応じて、保護者のやりとりの仲介をする等、それぞれのニーズに合わせて対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7	0	・支援中に訪問先の先生と話し、情報共有を行っている。 ・状況に応じて対応するように調整している。	

施設への説明等

39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7	0	・訪問記録をその日に渡し、書類では伝わりにくいことなど電話対応をしている。	
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・年に一度研修の機会を持ち、取り扱いに関して改めて考える機会を持つと共に保護者には個人情報活用に関する同意書を得ている。	
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0	・相手の事情や保育、教育に応じて支援している。	
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・施設全体としてマニュアルを作成している。
	43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・施設全体としてマニュアルを作成している。 ・支援先にもマニュアルはあるが、訓練には参加していない。
	44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・職員会議の中で必要に応じて共有している。訪問でのヒヤリハットでは、数年見られていない。
	45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止委員会を設置し、研修等実施している。
	46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・必要に応じて支援計画書に記載している。

公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 第1しょうとく園

公表日 2026年5月1日

利用児童数 29名

回収数 25

	チェック項目	回答状況				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 訪問支援に使用する教具教材が整えられていますか。	22	1	0	10		・教具教材の情報を収集しながら、より良い環境に整えるように今後も努めます。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	26	0	0	7		・支援先では、相談させていただき対応しています。今後ともプライバシーに配慮していきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	33	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	32	0	1	0		・訪問支援の頻度は通所児童福祉施設に実施を行っていますが、お子さまの状況により保護者と相談して実施回数を検討しております。ご不明な点がございましたら遠慮なくお返さください。
適切な 支援の 提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	32	0	0	1		・担当制で体制を実施しています。支援員同士で情報共有を行い、支援を行うこともあります。お電話のスタッフに相談し、支援に繋げることもあります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	32	1	0	0	・子供の様子がよく書かれていてとても助かります。	・支援先での様子に安心していただけるように、また、課題について共有できるように引き続き、お子さまの様子をお伝えします。
	7 こどものことを十分に理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	32	1	0	0		
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	29	0	2	2		・日頃の支援時に、支援先の先生と支援内容を話すことが多くあります。その中で、支援先のご意向をお聞きしています。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	31	1	0	1		・個別支援計画書について、ご不明な点やお声掛けの点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	2	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	33	0	0	0		
保護者 への 説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	33	0	0	0		
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	32	1	0	0		・個別支援計画書の内容については、今後は内容をお電話等でお伝えしてまいります。ご不明な点がありましたら、お声掛けください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	21	3	1	8		・センターは、ペアレントトレーニングの研修会を今年度は実施しました。夏季前は、学校見学の案内など、対象の方に情報開示を行っています。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	32	0	1	0		・今後は、情報共有をする際は、より共通理解することに繋がるように電話連絡を通して行う機会を持つようにいたします。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	30	2	1	0	・色々な助言をもらったり、相談ができるので非常に助かっている。 ・しょうとく園に訪問した際よくお話しして見て下さっていることが分かります。	・温かいお言葉を頂戴いたしましてありがとうございます。今後もお子様や保護者が安心して過ごされるように支援に努めてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	32	1	0	0	・話をよく聞いてくれるので、親も色々とお助けられている。精神面で。	・今後もお子様に寄り添った支援に努めてまいります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	30	1	1	1		・至らない点があるかと思いますが、今後もより良い環境に努めてまいります。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	0	1	0		・個別に情報が取れないように、親面で行い、必要に応じてありますが、より配慮しながら情報共有や情報伝達を行ってまいります。	
20 事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	31	2	0	0			

	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	31	1	0	1		・訪問時にお話ししています実施記録におきまして情報共有を行っています。不足する際は、お電話でお伝えすることがあります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	32	1	0	0		・訪問実施記録にて毎回の様子を共有し、文面では分かりづらい内容においては、お電話でお伝えすることがあります。
非常時等の対応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	25	1	1	6		・自己評価においては、ホームページにて次年度の5月下旬頃に公表の予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	31	0	1	1		・情報の取り扱いについては、書類の配布を含めまして、今後も十分注意してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるとしていると思いますか。	25	1	0	7		・センターには、マニュアルがあります。支援先では、支援先の指示や対応に合わせます。支援先の災害を想定した避難訓練に参加する機会もあります。
満足度	26	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	27	1	0	5		・保護者や支援先の職員とリスク管理について情報を共有し、子どもたちが安心して過ごせるように注意を払ってまいります。
	27	こどもは訪問支援を嫌がっていませんか。	32	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日は先生が来る日！と楽しみにしている。</li> <li>・訪問を楽しんでいる。</li> <li>・嫌がっていません。</li> </ul>	・お子様の心機を察しながら、思いに寄り添った支援に努めてまいります。また、年齢によって支援を行う距離感におさましても、配慮しながら個々に応じた関わりを行ってまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	32	1	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな些細な事でも、専門的な視点で考えアドバイスを頂けるので、とても有り難い。</li> <li>・子供の様子をとても真に掛けて頂き安心して相談することができた。</li> <li>・とても満足しているため、このまま継続して続けたい。</li> <li>・月に2回、子供の順に訪問して頂いています。園内での支援の様子やしょうとく園内のことは詳しくありませんが、支援の先生からは毎回詳細な報告書やお電話を頂いており、子供も先生の訪問を楽しみにしております。感謝しております。</li> <li>・確認できていない項目が「わからない」ですが、先生や支援内容にとても満足し、満足しています。ありがとうございます。</li> </ul>	・細かいお言葉を頂戴いたしましてありがとうございます。今後もお子様や保護者が安心して過ごされるように支援に努めてまいります。お返付の点がございましたら、遠慮なくお声掛けください。お子様にとりまして何が必要で大事かを考え支援をしてまいります。

公表

訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名

公表日

2026年5月1日

第1しょうとく園

利用施設数

29

回収数 25

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	25	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・分かりやすく、丁寧に教えて下さるので日々の保育に活用させて頂いている。</li> <li>・わかりやすい。取り入れにくい事もあるが、環境やスタッフ数の違いを理解してくれている。</li> <li>・子どもに寄り添った助言をいただいているので、取り入れやすい。</li> <li>・本児に対する助言は有り難いが、クラスの集団としての扱いが全て取り入れることは難しい。</li> <li>・授業の改善点や有効な手立てを教えてほしい。</li> <li>・通園時の本児への対応等聞くことができた。</li> <li>・具体的、かつ分かりやすい説明があった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当事業にご理解・ご協力をいただきましてありがとうございます。訪問時に情報共有等の時間をいただくことで、保護者の思いや日頃の園や学校の様子を聞き、支援に繋げることができております。今後とも、よりよい支援が繋げられるようにご協力をよろしくお願いいたします。</li> <li>・ご不明な点がありましたら、いつでもお声掛けください。</li> </ul>
2	訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	25	2	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・困っている時など、私が気付かない時もその子に対して声を掛けて下さり、その後どのような風にしたか教えてもらえる。</li> <li>・学ぶ事が多々あり勉強になる。視点の違いに驚かされ、とても満足。</li> <li>・経験豊富な方ですし、満足している。</li> <li>・細かいところも見てもらえている。</li> <li>・児の体質や成長に合わせた支援を相談できた。(運動会の取り組みについて)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かいお言葉をいただきましてありがとうございます。今後も知識・技術の向上を目指して研鑽していきます。お気付きの点がございましたらお声掛けください。</li> </ul>
3	訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	25	0	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小さなことでも、親身になって聞いてもらえるのでずいぶん助かっている。</li> <li>・質問にも応じてくれるし、保育を見て適時、助言や提案をもらえる。</li> <li>・十分な回答を頂いている。</li> <li>・発達に合わせた環境作りの相談にわかりやすく丁寧に返答してもらえた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後も具体的な説明や支援ができるように心掛けたらと思います。質問等ありましたらいつでもお声掛けください。</li> </ul>
4	保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	22	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少しずつですが、軽減されている。</li> <li>・様々な事を試すこともできたし、メンタル面(保育者の)でもとても救われている。</li> <li>・解決まではいかないですが、軽減されている。</li> <li>・課題を見つけて下さり、成長した点も見つけてくれている。</li> <li>・園では、解決できないことを専門的な立場から助言いただき、支援に繋がった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・状況やタイミングに応じて支援方法は変わりますが、その都度、先生方の悩みを払拭できるように、一緒に支援方法を検討させていただきます。</li> </ul>

5	事業所からの支援に満足していますか。	22	3	0	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足です。月2回で、時間も活動内容に応じて対応して下さって、色々な姿も見てもらえて助かっている。</li> <li>・もっと来てほしいと思う。(週に1回とか)</li> <li>・満足しています。</li> <li>・児童にも園にも寄り添いながら支援してくれており、満足している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至らない点が多々あると思います。子どもたちひとりひとりが、集団の中で日々輝いて生き生きと過ごせるように、寄り添い、より一層支援に努めてまいります。</li> </ul>
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <span>その他のご意見</span> <span>ご意見を踏まえた対応</span> </div>						
<div style="display: flex;"> <div style="flex: 1; padding-right: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・訪問支援終了後、しっかり意見の交換ができるのでとても良いことだと思っている。</li> <li>・いつもありがとうございます。</li> <li>・いつも丁寧に見ていただき、アドバイスを下さるので、保育士も参考にさせて頂いている。</li> <li>保護者の方も安心され、喜んでおられる。</li> <li>・家庭と園の間に入ってくださり、共通理解ができていることが有り難い。また、日々の保育で私自身がどういう風にしたらいのか分からない時もすぐに聞け、安心できるので、保育者にとっても助かっている。今後ともよろしくお願いたします。</li> <li>・子どもの様子をしっかりと把握し、成長や援助について、共有することができ、大変嬉しく思う。</li> <li>・いつもアドバイスを頂き、大変ありがたく、助けて頂いている。これからも宜しくお願いたします。</li> <li>・色々な時間帯での訪問があり、生活の色々な場面を通して助言を頂けるのでありがたい。</li> <li>・いつも丁寧な情報共有ありがとうございます。</li> <li>・今後困りごとがでてくるかもしれないですが、今年度は保護者の希望による訪問のため、本児の様子を見ていただき、情報共有してその後保護者に報告される流れでした。保護者の安心に繋がっているといいです。回数も多めのため、また、次年度相談させて頂きたい。</li> <li>・関わっている子どものことについて気付きや成長を一緒に共有できるので、とてもありがたい。</li> <li>・来ていただいた際には、前回からの様子を詳しく聞いて共に支援や課題を考えて下さり、心強かった。また、小学校での課題を話し合うことができ、それを保護者に話すきっかけになった。</li> <li>・しょうとく園在園中の様子を教えていただくことで、本児の成長や課題を見つけることができた。色々な活動において、配慮していることを伝えることで、適切な支援であったかを教えていただき、次に繋げていくことができた。</li> <li>・言語訓練を見学させていただいたことで、本児への関わりや教材について学ぶ機会となった。</li> <li>・継続して園訪問をしていただき、集団の中での時の成長を共有できてよかった。</li> <li>・保護者との連携がより密になるので、課題や支援を共有でき統一した支援に繋がった。</li> <li>・園の支援を温かく受け入れてもらい、職員のものにも繋がった。</li> <li>・保護者の悩みや心配事を知るきっかけになった。</li> <li>・支援ご助言を頂いたおかげで、私も学校生活の中でも落ち着けるようになった児童がいます。</li> <li>・お話しことや報告書については、学校の意図を汲み取って頂いているのがよくわかります。ただ、直接支援ではないので知識技術等は足りかねます。</li> <li>・いつも子どもに寄り添い、子ども目線で支援方法を検討してくださりありがとうございます。</li> </ul> </div> <div style="flex: 1; padding-left: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・温かいお言葉をいただきましてありがとうございます。</li> <li>訪問時は、お忙しい中情報共有のお時間をいただきまして重ねて感謝申し上げます。訪問の時間帯や日にち等、こちらの都合に合わせていただいていることが多いかと存じます。ご希望がありましたら、調整できる場合もございますので、遠慮なくお声掛けください。</li> <li>・保護者には、訪問日に実施記録を持ち帰り、報告させていただいています。補足がある場合や文章では伝わりづらい子どもの様子がある場合は、電話連絡をさせていただくこともあります。支援時は、お子さまによっては直接支援、または、間接的支援にて支援を行っています。支援先のご要望で直接的支援を控えさせていただくこともありますが、のちにフィードバックを行う場合もあります。</li> <li>・支援先の先生方が丁寧に子どもや保護者に寄り添っていただいていることがよく分かります。子どもにとって何が一番大切かを一緒に考えながら、今後もよりよい支援ができれば、連携を図ってまいります。今後ともよろしくおねがいいたします。</li> </ul> <p>保育所等訪問支援事業は保護者のご依頼のもと、支援先のご協力もあり成り立っております。支援先の先生がたは休みなく子どもたちの為にお忙しくされておられる中、事業所アンケートにご協力いただきありがとうございます。お気づきの点がございましたら、いつでもお声かけ下さい。</p> </div> </div>						

## 公表 事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センター 第2しょうとく園		
○保護者評価実施期間	2026年 2月10日		～ 2026年 3月17日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	32名	(回答者数) 26名
○従業者評価実施期間	2026年 3月23日		～ 2026年 4月 3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 7
○訪問先施設評価実施期間	2026年 2月10日		～ 2026年 3月17日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 31日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童発達支援センターに他職種(相談・ST・PT・OT・Ns)のスタッフが常駐しており、訪問スタッフがいつでも相談できる環境がある。	・支援計画の作成や訪問先での課題で対応に困った時には、他職種スタッフからアドバイスを受けてより良い支援ができるようにしている。また、専門職からの研修を受けて知識の向上を図っている。	・訪問支援員間で勉強会を行ったり、センター内外の研修を受けたりする等、更なる支援員の質の向上に努めていく。
2	・訪問時、保護者や訪問支援施設に実施記録を渡し、情報共有を行っている。	・関係機関と連携を図り、必要に応じて担当者会議に参加し、よりよい支援の方向性について話し合う機会を設けることもある。それにより、保護者・支援先と共通理解をして、支援に繋げることができる。	・担当者会議が行われるまでに、日頃から園や学校の先生、相談支援員等の関係機関とより連携を図り、子どもの様子や課題について共有できる機会を設けていく。
3	・センターからの卒・退園児のみならず、地域のこども園等で訪問支援をご利用の方へ就学に向けての移行支援を実施している。	・府や市町村からの学校見学会内や就学相談についての情報提供を、個々に応じて行っている。就学に向けて学校の先生とも情報共有を行い、環境が変わっても子どもも保護者も安心して新しい環境に適応できるようにしている。	

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・個別支援計画の内容について、対面や電話連絡にて説明ができていない状況がある。	・訪問支援員の帰園時刻がそれぞれで、帰園後は事務処理を優先している状況である。電話連絡の際に、個別支援計画書に関する支援内容は伝えるも、書面に沿って説明ができていない。また、訪問支援員の業務時間内で保護者に連絡が取りづらいため、説明する時間の確保が難しいケースもある。	・個別支援計画書の内容について説明をする際に、支援先の意向や取り組みも説明に加え、連携を図っていることを保護者にも伝えていく。 ・連絡手段と時間の確保の検討。
2			
3			

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		第2しょうとく園		公表日		R8 年 5 月 1 日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
体制・整備・運営	1	訪問支援に使用する場合の教員教材は適切であるか。	5	1	・どんな物を使用しているのかわからない。 ・お子さまが手持ち無沙汰や忘れ物をしている時は代わりとなるものを提供できている。また、それらが支援先の先生方の気付きとなっている。	・個々のお子さまの課題や状況に合った教員教材を今後も支援先の先生方と相談をして使用していきます。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	7	0	・4名の訪問支援員を配置したことで利用希望に対して対応できるようになった。	・地域のご要望に出えるような体制作りができています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・定期的に会議を行い、困難なケースなどチームで検討している。	・チームで引き続き連携を回っていきます。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・年に1回評価表の記入を依頼している。また、こまめな電話連絡などを保護者の意向を聞く機会を多く持っていると感じ、本人の思いを代弁した内容を確認したり、電話連絡などで意向を確認したりしている。	・今後も、ご本人や保護者の意向や思いに寄り添いご意見を受け止めていきます。	
	5	従業者の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・月一の訪問会議などで共有している。 ・支援時間を有効に確保するために、会議の中で話し合い、業務改善に繋いでいる。		
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	0	・訪問先への評価依頼を行っている。 ・第三者評価をセンターとして受けている。		
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・法人内外の研修に参加している。 ・研修計画を立案し、実施している。また、勉強会やケースカンファレンスを行い、質の向上に繋がっている。		
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	7	0	・要望書などで把握して個別支援計画を作成している。		
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの雇用の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・月1回会議を開き、情報共有やケース検討を行っている。また、会議録を回報し、共通理解をできるようにしている。		
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	6	0	・意向を盛り込んでいるのかわからない。 ・利用可否判断に際する時は、児童福祉とともに支援先に行き、実情を把握している。支援先の意向を盛り込むこともある。	・支援先の意向を相み込んで作成することもあります。情報共有を行いながら、連携を回っていくことが今後必要である。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0	・必要な職員には、共有されている。		
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・インフォーマルなアセスメントはないと思われる。 ・参考文庫を右と作成した園独自のアセスメントシートがある。子どもの状態を把握するには事足りるまいようである。		
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・ガイドラインについて学ぶ機会を持った。		
	14	保育所等訪問支援計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・計画に沿った支援ができています。		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	1	6	・毎回の訪問時に打ち合わせは行っていないが、支援員同士で役割を話す時もある。支援会議後も行い、内容を検討して日々の支援に繋げている。 ・振り返り等の連携は取れている。		
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3	4	・毎回行っていないが、共有した方が良いこと等は時間を作って行っている。 ・毎回の訪問時に打ち合わせは行っていないが、支援員同士で役割を話す時もある。支援会議後も行い、内容を検討して日々の支援に繋げている。 ・振り返り等の連携は取れている。 ・個々の振り返りは毎日できている。		
	17	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	7	0	・必ず訪問先の理念を尊重している。尊重するあまり支援が難しい場合もあり、否慮している。		
18	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	7	0	・当日その場で記録を作成し、残している。 ・徹底できている。			

関係機関や保護者との連携	19	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・年に二回行っている。	
	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・担当者が中心に参加している。	
	21	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・学校や地域の事業所等連携し、年に一度程度保育所等訪問支援事業所と研修を通じて交流している。 ・困り感の高いケースや子どもだけでなく保護者支援や丁寧な対応が必要なケースは特にごまめに連携を取るようになっている。	
	22	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・こちらから支援に関する書類は提出し、共有している。学校等の教育計画を共有し、相互理解になっているかは不明。	・会議等の時間を確保し、多方面から子どもをより深く理解できるよう関係機関と連携を図っていく等改善していく必要がある。
	23	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	6	1	・研修は必要に応じて参加している。担当者会議等で専門家や専門機関から助言を受けることがある。	
	24	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。	7	0	・関わりの多い市町村の会議には参加している。	
	25	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・訪問記録だけではなく、連絡が付きにくい保護者には、手紙を送ったり、電話連絡を取ったりしている。	
	26	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	7	・家族参加の研修の機会は設けていない。	・今後の検討課題である。
保護者等への説明等	27	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に説明をしている。	
	28	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	7	0	・初めて訪問する施設には、主旨を説明し、同意を得ている。また、担当や校長の意向により、再度説明を求められた際には、その都度対応している。	
	29	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・計画見直し時期は要請書を配布し、保護者の意向を確認している。 ・保護者の意思は確認しているが、本人の意思を確認しているかは分からない。 ・書類だけでは分からず子どもの保護者の思いを考慮し、支援計画書を作成している。	
	30	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	5	2	・毎回説明できないことがあるが、電話連絡時に不確かがないか確認することはある。	
	31	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・保護者への連絡はごまかに行い、必要に応じて助言、連絡調整を行っている。	
	32	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	7	・保護者同士、兄弟同士で交流できる場は設けていない。	
	33	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・その都度ごまかに対応している。	
	34	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	1	6	・個別への連絡が主のため、定期的に通信やSNS等の画一的な発信は行っていない。	
	35	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・年に一度研修の機会を持ち、取り扱いに関して改めて考える機会を持つと共に保護者には個人情報取扱に関する同意書を得ている。	
	36	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・契約書面にルビを使ったり、個別に訪問前後に電話連絡をして、伝わっているが確認をすることがある。	
訪問先	37	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	7	0	・必要に応じて、保護者のやりとりの仲介をする等、それぞれのニーズに合わせて対応している。	
	38	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	7	0	・支援中に訪問先の先生と話し、情報共有を行っている。 ・状況に応じて対応するように調整している。	

設  
へ  
の  
説  
明  
等

39	保育所等訪問支援の実施後に、家族等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	7	0	・訪問記録をその日に渡し、園庭では伝わりにくいことなど電話対応をしている。	
40	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・年に一度研修の機会を持ち、取り扱いに関して改めて考える機会を持つと共に保護者には個人情報誌使用に関する同意書を得ている。	
41	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	6	0	・相手の事情や保育、教育に応じて支援している。	
42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	2	・施設全体としてマニュアルを作成している。	
43	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・施設全体としてマニュアルを作成している。 ・支援先にもマニュアルはあるが、訓練には参加していない。	
44	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・職員会議の中で必要に応じて共有している。訪問でのヒヤリハットでは、数年見られていない。	
45	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・虐待防止委員会を設置し、研修等実践している。	
46	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・必要に応じて支援計画書に記載している。	

非  
常  
時  
等  
の  
対  
応

## 公表 保護者からの事業所評価の集計結果

事業所名 第2しようどく備

公表日 令和 8 年 5 月 1 日

利用児童数 32名

回収数 26名

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 訪問支援に使用する教員教材が整えられていますか。	16	1	0	9		・教員教材の情報を収集しながら、より良い支援に繋がるように今後も努めてまいります。
	2 プライバシーに配慮された面接室等が整えられていますか。	18	1	0	7		・支援先では、相談し対応してもらっています。今後ともプライバシーに配慮していきます。
	3 事業の目的が適切に説明されていると思いますか。	25	0	0	0		
	4 保育所等訪問支援の頻度や時間について、相談の上決定されていますか。	26	0	0	0		
適切な支援の提供	5 こどもの状態に応じた支援が提供できる職員（職種や人数）体制だと思いますか。	25	0	0	1		・訪問利用を希望される方が多い時期には、お待ちいただくこともあります。
	6 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	26	0	0	0		
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、保育所等訪問支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	26	0	0	0	・普段の様子やこちらの要望をしっかりと反映してくれている。	・ありがとうございます。今後もよりよい支援につながるよう努めてまいります。
	8 保育所等訪問支援計画（個別支援計画）には、訪問先施設や担任等の意向が盛り込まれていると思いますか。	22	0	0	4		・安心して支援をお任せいただけるよう、お子様や保護者に寄り添った支援に努めてまいります。
	9 保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の提供すべき具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	24	0	0	2		・ご不明な点やお気づきの点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	10 保育所等訪問支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	25	1	0	0		
	11 保育所等訪問支援を実施する際、訪問先施設に配慮した支援が行われていると思いますか。	24	0	0	2		・いつも保育所等訪問支援にご協力いただきまして、ありがとうございます。
保護者への説明等	12 事業所を利用する際に、運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	25	0	0	1	・十分過ぎるが不安なことがあればすぐに相談できる。	・ご不明な点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	13 「保育所等訪問支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	22	3	1	0		・支援計画書の内容については、今後は内容をお伝えしてまいります。ご不明な点がありましたら、いつでもお声掛けください。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行なわれていますか。	13	3	2	7		・就学先もご体罰対象のお子様、学校見学のご案内をお伝えしています。現在、ご家族に参加いただける研修等の機会はありませんが、開催の際はお知らせします。
	15 必要なときにこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況、課題について共通理解ができていると思いますか。	26	0	0	0		
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	22	3	0	1	・気になること以外にも子どもの成長にともなったアドバイスがありよかった。	・今後ともお子様や保護者が安心して過ごされるよう支援を行ってまいります。ご相談がありましたら、いつでも連絡をお待ちしています。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	26	0	0	0	・成長を共に喜んでくれる。 ・いつも話を聞いてくれ共に成長や課題に対して考えてくれる。	・今後もお子様や保護者に寄り添った支援に努めてまいります。
	18 こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	24	0	0	2		・至らぬ点があるかとは思いますが、今後より良い支援に努めてまいります。
19 こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	25	0	0	1		・今後もお子様や保護者に寄り添った支援に努めてまいります。ご不明な点や お気づきの点がございましたら、いつでもお声掛けください。	

	20	事業所は、訪問先施設からの相談等に適切に応じ、必要な助言と支援が行われていると思いますか。	22	0	0	4		・今後も状況に応じて、関係機関と情報共有し連携に努めてまいります。
	21	保育所等訪問支援を実施した際に、訪問先施設と訪問支援の内容について話し合いが行われていると思いますか。	24	0	0	2		・訪問記録用紙にて情報共有を行っています。不足の際は、お電話で情報共有を行うこともあります。
	22	保育所等訪問支援を実施した際に、保護者に対して適切に共有がなされていると思いますか。	24	1	0	0	・毎回詳しく知らせてくれるので、様子がよくわかる。	・温かい言葉を頂戴いたしましてありがとうございます。今後もお子様や保護者の方として過ごせるよう支援を行ってまいります。
非常 時 の 対 応	23	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	16	1	0	9		・自己評価については、法人のホームページで公表する予定です。
	24	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	25	0	0	1		・個人情報の取り扱いについては、今後も十分留意してまいります。
	25	事業所では、緊急時の対応について訪問先施設と連携し、実践できるようにしていると思いますか。	21	0	0	5		・支援先では、支援先の指示や対応に合わせます。
満 足 度	26	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	20	0	0	6		・訪問先の方々とリスク管理について情報共有し、子どもたちが安心安全に過ごせるよう注意を払っています。
	27	子どもは訪問支援を嫌がっていませんか。	26	0	0	0	・いつも先生が来るのを楽しみにしている。	・ありがとうございます。今後もお子様に寄り添った支援を行ってまいります。
	28	事業所の支援に満足していますか。	25	0	0	1	・学校に言いにくいことなど相談して架け橋になり感謝している。温かい支援に感謝している。 ・心強く励みになる。安心して学校生活を送れるよう今後もサポートお願いします。 ・子どもの気持ちを尊重してくれ心強い。	・至らぬ点があるかとは思いますが、今後もより良い支援に努めてまいります。ご不明な点やお気づきの点がありましたら、いつでもお声掛けください。

事業所名

公表日

令和 8

年 5

月 1

日

第2しょうとく園

利用施設数 19

回収数 13

チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	12	1	0	・家庭など学校外での児童の様子がわかり大変参考になった。(情報共有できた) ・説明や助言がわかりやすく、すぐに導入することができる内容で感謝している。	・今後もより良い支援に繋がるようにご相談させていただくこともあるかと思いますが、よろしくお祈りします。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	11	2	0	・自身が知識不足なため、色々教えて頂き助かっている。	・今後とも知識・技術の向上を目指し研鑽してまいります。お気づきの点が
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれていますか。	12	1	0	・どんな小さな内容でも丁寧に答えて頂いているのでとても質問しやすい。	・お気づきの点がございましたら、ご連絡なくお声掛けください。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	11	2	2	・課題に対して一緒に向き合ってください感謝している。 ・困りごとにも気兼ねなく相談できるので、安心感があつた。	・今後も、困りごとの軽減につながるよ
5 事業所からの支援に満足していますか。	11	2	0	・いつも同じ先生が来て下さりとても話やすい。	うに、検討を続けてまいります。
その他のご意見	ご意見を踏まえた対応				
<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも丁寧に対応してくれている。</li> <li>・いつも訪問に来てくださる先生のお人柄が素晴らしい、指導も的確で本当にありがたいと思っています。</li> <li>・支援・助言をいただいたおかげで、私ども学校生活の中でも落ち着き取り組めるようになった。</li> <li>・児童のことを丁寧に観ていただき、職員からの質問があった時には、わかりやすく答えていただいている。</li> <li>・いつも子どもに寄り添い、こども目線で支援方法を検討してくれている。</li> <li>・この訪問は、我々学校側がお願いしているものではないので、正直評価しにくい。</li> <li>・お話しすることや報告書については学校の意図もくみとっていただいているのがよくわかる。ただ、直接支援ではないので、知識、技術等については図りかねます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・温かいお言葉をいただき、またお忙しい中、ご理解協力いただきましてありがとうございます。今後も、子どもにとって良い支援に繋がる為に、支援先、保護者が同じ方向を向いていけるよう情報共有して連携を回ってまいります。また、知識・技術向上を目指し、研鑽してまいります。</li> <li>保育所等訪問支援事業は保護者のご依頼のもと、支援先のご協力もあり成り立っております。支援先の先生がたは休みなく子どもたちの為にお忙しくされておられる中、事業所アンケートにご協力いただきありがとうございます。お気づきの点がございましたら、いつでもお声かけ下さい。</li> </ul>				